

令和 6 年度(2024 年度)「小学校給食に関するアンケート」調査結果

【実施目的】

今後の学校給食の献立検討や食育推進に繋げることを目的として、児童の意見をアンケートにより調査するもの。

【対象者】

豊中市立小学校、および義務教育学校の前期課程に在籍する児童 1～6 年生

【調査時期】

令和 6 年(2024 年)11 月 13 日(水)～12 月 6 日(金)

【調査方法】

オンライン(Forms)によるアンケートを実施。

【対象者数と回答率】

対象者数(※)	22,070 人
回答者数	16,170 人
回答率	73.3%

※令和 6 年(2024 年)5 月 1 日現在の「小学校・義務教育学校(前期課程)在籍児童数調査票」より

【概 要】

○回答した児童の所属している学年(アンケートでは「学年をえらんでください」と表記)

1 年生	16%
2 年生	15%
3 年生	19%
4 年生	18%
5 年生	16%
6 年生	16%

○給食が好きかどうか

すき	72%
きらい	5%
どちらでもない	23%
無回答	0%

○給食を残さず食べているか

残さず食べている	31%
ほとんど残さず食べている	24%
時々残している	28%
よく残している	17%
無回答	0%

○給食のご飯とパンのどちらが好きか

ご飯	32%
パン	29%
どちらも好き	35%
どちらも好きではない	4%

○給食のご飯の量について

ちょうどいい	64%
多い	25%
少ない	11%

○給食のパンの大きさについて

ちょうどいい	56%
大きい	33%
小さい	11%

○ご飯の提供回数について(現在、小学校給食ではご飯を週に3回提供)

ちょうどいい	50%
ごはんが出る日を増やしてほしい	25%
ごはんが出る日を減らしてほしい	25%

○パンの提供回数について(現在、小学校給食ではパンを週に2回提供)

ちょうどいい	44%
パンが出る日を増やしてほしい	34%
パンが出る日を減らしてほしい	22%

○朝ごはんを食べているか

ほとんど毎日食べている	89%
時々食べている	9%
食べない	2%

○朝ごはんは何を食べることが多いか

「その他」には、ほかに食べているものがあれば記載してもらったようにした。

ごはん	34%
パン	51%
麺類	2%
その他	13%

【まとめ】

今回、小学校では児童を対象とした給食に関するアンケートを初めて実施しましたが、豊中市立小学校・義務教育学校(前期課程)の児童の約7割以上の回答を得ることができました。

結果を見ると、給食を「好き」と思う児童の割合は約7割以上との結果となりましたが、現在半数近くの児童が給食を「時々残している」もしくは「よく残している」という現状がみられました。

残菜量を減らすための取り組みとして、残菜が多いメニューについては、味付けの調整や使用食材の変更、調理法の工夫等に努めていますが、給食への満足度をより高めていけるよう、引き続き努めていくとともに、学校給食により関心をもってもらえるように一層食育を推進していくことも重要な課題であると言えます。

主食(ごはん・パン)に関する内容では、ごはんとパンを比較すると、パンよりもごはんのほうが「好き」と思う児童が多い結果となりましたが、提供回数については、「ごはんが出る日を増やしてほしい」と思う児童より「パンが出る日を増やしてほしい」と思う児童のほうが多い結果でした。

また、朝食に関する質問では、児童の朝食についての現状も把握することができ、半数以上の児童が朝食にパンを食べていることが分かりました。

学校給食を通して、望ましい食習慣を伝えていくことは大切な役割の一つであるため、和食文化の継承、地産地消の観点からもごはんの大切さを伝えていきたいと思えます。

現在、回答した児童の約11%が、朝食を毎日食べていないことがわかりました。豊中市健康づくり・食育推進計画では「朝食を食べる頻度が週に2~3回以下の人の減少」が数値目標の一つに挙げられています。朝食に関しては家庭の状況にも関わることであり、難しい課題であると

言えますが、朝食の喫食率を上げるためには、引き続き、朝食を食べることの大切さについても伝えていくべきであると考えます。

今回のアンケート調査で得られた児童の率直な意見や感想を参考に、今後の給食運営・食育推進を進めて参ります。